



CBC NEWS

2011年10月号
中央聖書神学校



息吹 Vol. 42



献身者を送りだそう

浜松キリスト教会会牧師

菊地和博

「目を上げて畑を見なさい。色づいて、刈り入れるばかりになっています。」(ヨハネ四：三五)「実りは多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主に、収穫のために働き手を送ってくださいるように祈りなさい。」(ルカ十二)

黄金色に輝く稲田を車窓からながめ、上記のみことばを思い出しました。主は、色づいた畑を見なさい、働き人が送り出されるように「祈りなさい」と言われます。私の牧会する浜松キリスト教会は戦後のリバイバルの波に乗って、二十数名の献身者を神学校に送り出してきました。将来を囑望され教会を支えていくはずの若者たちを送り出すことは、確かに教会形成の上で痛手

ではありました。しかし、長い目で見れば、それは教会にとって大きな霊的遺産でもあり祝福でもありました。その後、長い期間、献身して神学校に行く者は多くはありませんでしたが、教会は常に、「送り出せるように」毎週の祈禱会などで祈ってきました。そのような中で、主は私たちの祈りに答えてくださり、今年一人の献身者をCBCに送り出すことができました。現在、数名献身を志す者もいますので、今後とも祈りを厚くしていきたいと思っています。献身者を送り出すことは、「祈り」がそのスタートです。

福音宣教の担い手は教会であり、伝道者を養成するのは教会の任務です。個教会に代わって、また個教会と協力してCBCは、個教会だけではなし得ない訓練をしています。学生は色々な教師から学び、さまざまな教会に派遣され、より広い視野に立って伝道・牧会ができるように訓練されています。現在のCBCはほんとうに入り易くなっていると思います。献身の志さえあれば、

勉学、生活、経済の面でも対応してくれれます。教職の高齢化、後継者の必要が叫ばれる中、まず、献身者を送り出せるよう「祈る」ところから始めさせていただきます。ましましよ。



あなたの「その時」は…

CBCの学生たちは、様々な境遇の中から入学してきます。その時が突然やってくる人、長く待ち続けなければならなかった人。霊的な備えが必要だった人、生活や経済面での備えが必要だった人。学生ひとり一人のその時は、主の選びの美学を実感できます。

現在CBCは全寮制の本科に、自宅からインターネット経由で学習できる通信科が加えられ、入学への道筋に幅が広がりました。自己管理に依るところの多い通信科の学びは決して平坦な道ではありませんが、献身者としての第一歩を踏み出すその時となることは確かです。まず祈りその時を主に委ねて参りましょう。

(CBC通信科)



七月十六日〜八月二十九日まで夏期派遣実習が行われ、それぞれの教会でご奉仕をさせていただきました。受け入れてくださった教会、またいつもお祈り下さっている全国の皆様に感謝の意を込めお証を掲載いたします！

いのちのパンチンスタンプセンター

三年 関本 英樹

今年の夏期派遣では新潟県新発田市にある、いのちのパン・クリスタンセンターに派遣となりました。宣教師のトニー・サルズベリ―先生のもとに滞在しながら、トラクト配布、通訳、説教などの様々な教会のお手伝いをさせていただきました。

朝は祈りと、聖書の御言葉の分かち合いから一日をはじめ、いつも神様との交わりを大切に作る姿勢、また英会話教室、ゴスペル・ワークショップ、映画会などを開催し、地域の人々との交わりを通して伝道に結び付けていく大切さを学びました。

この地は伝道がすみにくい地域であると聞きましたが、他教会と協力し合いながら少しずつですが、着実に福音の種を根強く蒔き続けることによって、収穫の日が必ず来ることを感じました。また日本の伝道のために、日々働かれている宣教師の先生方への感謝の気持ちがさらに強くなりました。



教会は商店街の真ん中にあり、平日から多くの方が訪れている

北陸教区巡回

三年 岸本 志津乃

ハレルヤー！主の御名をほめたえませす。私は夏期長期派遣において、北陸の富山県、石川県、福井県の三県七つの教会を巡回させていただきました。日本の中でも北陸は浄土真宗の盛んな地域であり、伝道において北陸の伝道はとても難しいところではないかと思いました。しかし北陸の地に重荷を持って伝道している北陸教区の先生方、また宣教師の先生方を通してたくさん御言葉の種が蒔かれ、地域に根ざした伝道の働き、その地域の人々との関係の中で救いに導かれている方々が起こされています。ことを知りました。

目に見えるところは伝道するには難しい状況がありましたが、兄弟姉妹や先生方を通して多くの御言葉の種が蒔かれているので、これから大きくなりバイバルが起ることを期待しています。

嘉手納アッセンブリー教会

三年 高山 咲

嘉手納アッセンブリー教会では、地域に密着した福音宣教の働きについて多くの事を学ばせていただきました。

←月に一度行われる家庭集会では幼稚園の先生が集まる。



教会に隣接した幼稚園から毎年多くの子ども達が卒園し、そのご家族が教会につながっています。また家庭や職場では、教会員の方々のお証しを通し、御言葉の種が蒔かれその実を結んでいる事を知りました。池原先ご夫妻をはじめ、教会員の方々の祈りと信頼の積み重ねが教会の祝福となり、地域の祝福となつている事を実感致しました。救霊に対する情熱、地域を愛し人を愛する心を教えていただきました。

東北派遣報告

東日本大震災から半年が経ち、東北の方々の声はニュースで取り上げられる事が少なくなりました。しかし今もなお多くの必要があることを覚えます。今回北野校長と十名の神学生は、七月十六日から十日間、東北教区の諸教会において奉仕させていただきます。

三月の震災直後、被災地への物資運搬を皮切りに、メンバーを入れ替えながら神学校として今回五度目の東北での支援活動。三月に初めて被災地を見た時の光景が嘘のように復旧した地域もあれば、震災以降、時間が止まったかのように何も変わっていない地域も目の当たりにした。

今回の支援活動は、毎日実際に被災地に出向き、側溝の泥掻きや物資運搬などの支援をさせていただいた。そんな中、多くの出会いを通してこんな体験をした。



一日の支援活動を終えると、被災者の方が最後に「ありがとう」と声を掛けてくださったのだが、その言葉を掛けられると、今まで体験したことのない熱い思いが湧き出てくるような感覚になったのである。



たとえ小さな働きであったとしても、今私達にできることは何なのかを考えながら歩む者となつていきたい。また、この支援活動を見えないところで日々支えて、働きをしてくださっている愛する方々があることを私達は覚えて祈つていきたい。

二年 神山 茂紀

支援活動の様子



出店を行い地元の方々へキリストの愛をお届けする機会となった。



泉キリスト教会において行われたキャンプの様子。終始笑顔が絶えなかった。



静心

戦争の最中に生を受けた私と同年代の人々は、それぞれの社会人生を撤収、収束する方向にある。“体力が衰えて”という人は無理なく収束に入っていけるようだ。健康で、体力を温存している人でも今までのようにひたすら自分の可能性を信じ邁進するのはもう似つかわしくないと気づいている。人生を折りたたむ一方で、その後の生き方も気になるが、「人生の収束」と一歩退いてみると、視線の角度が変わり“世のすべてが見えてくる”楽しさがある。これはひょっとして私たちが気づくまで待つて与えてくださる神さまの祝福ではないのか。神さまは私に爽やかな明るい陽に向かう第二の人生を与えてくださった。瀬戸内の自然の美しさを讚美しつつ、いつもイエスさまを語り、神さまと共に歩み続けるその期待に胸が膨らむ。 三年 新井 晴美

伝道活動報告

男子聖学院!

六月二〇日に男子聖学院での伝道集会をさせて頂きました。今回はイケイケ・アゲアゲの賛美を中心に、被災地支援のVTR、シヨート・メッセージをさせて頂きました。さすがは高校生、賛美のときにはノリが良く、私たちが力を頂きました。メッセージの際もさすがは高校生、みんな安らかになっていました。笑。「可能であれば11月にも伝道集会してみないか」と打診され、今は、それに向け計画中です。

また、今後の目標としては聖学院の学生さん達を、如何にして学生伝道集会@中央聖書

Gospel in the night!

学生伝道集会「ゴスペルインザナイト」の醍醐味は、何と言っても伝道です。ある時、なかなかイエス様を信じる事が出来なかった女子学生が集会に来ました。「イエス様は、人として生まれ現実存在していたんだよ、歴史の教科書にも出てきたよね」と彼女に話しました。すると、彼女は素直に「信じます」と告白しました。

彼女に聞いたところ、私は信じないと変な確信を持っていたが、話をしているうちに私の中に電気のようなものが走り、疑いが取り除かれ、信じる事ができたんですと喜んで



教会やストリート・ライブ@駒込駅北口につながるかを考えています。これからもこの聖学院伝道のためにお祈り下さい。

(二年 下道 恵)



語ってくれました。聖霊様が働いてくださるときに、人は信じる事が出来るのだと個人伝道をするなかで目の当たりにしました。魂の救いに携われ喜びは何物にも変えられません！ (二年 杉浦 麻衣子)

上野伝道!



私達が準備したおにぎりとお茶を召し上
 っていたさながら、時間の許す
 限り交わりとお祈りの時をもつて
 仕事を与えられた方、不思議な方
 法で食事を与えられた方、教会につ
 ながる方も起こされ、主の豊かな恵
 みと祝福が上野にも注がれていま
 す。(二年 大笹 月江)

仕事がなかなか見つからず公園での生活
 を余儀なくされている方々へ、イエスさまを
 伝えるためにみ言葉を携え隔週毎に出かけ
 ています。
 伝道の場となっている通称「パンダ橋」の
 階段には毎回二〇人と五〇人もの方々が集
 会のはじまる前から座って待っていてくだ
 さいます。一言も聞き逃さないように熱心に
 聞かれる方、うなずきながら聞かれる方な
 ど、お聞きになる姿勢は様々ですが、み言葉
 に応答し、信仰の決心をされる方も多く起こ
 されています。

その他の活動!



その他にもさまざまな伝道活動を行って
 います。公園伝道、トラクト配布、誠志会病
 院伝道、女子聖学院伝道、訪問伝道、路上ラ
 イブ伝道など、それぞれの賜物に応じて自主
 的に活動しています。
 路上ライブでは、どうすれば人々にインパ
 クトを与えられるかを考え、ジャンバ(アフ
 リカの太鼓)を取り入れたり、ジャグリング
 や中国ゴマの大道芸(最近学生集会で救われ
 た専門学生が奉仕してくれています。)を用
 いたりしています。

多賀谷 登茂子師 歓送会

長年CBCの図書司書として働いて下さった
 多賀谷師が、九月二十八日(水)をもちまして退
 職されました。約一八年間、学生達により良
 い環境をいつも整えて下さいました。

感謝の思いを込めて、昼食時にささやかな
 歓送会を行い、先生の今後の健康と主の働き
 のために、共に祈りました。長い間、本当にあ
 りがとうございました。

トラクトも学生達がアイデアを出し合いな
 がら新しいデザインを作成し、訪問伝道や公
 園伝道に用いています。誠志会病院や聖学院
 の先生方も定期的に実践の場を提供して下
 さり、良き伝道の時となっております。聖霊
 が働いて下さり、何人の方がキリストに導
 かれていきます。現在、二名の方が洗礼式に向
 けて準備をしています。祈りに答えて下さる主
 に感謝します! 宣教力UP!
 (二年 田原 聖二)

中央聖書神学校のオープン・キャンパスが開催されました。今年度は八名の参加者が駒込山を登つて来てくれました。

オープン・キャンパスの醍醐味はなんとと言っても模擬授業です。今年には菊山先生による「説教書」と、安田先生による「旧約聖書背景」でした。「説教書」では神学生の説教演習が持たれ、「旧約聖書背景」では、旧約時代の食事が紹介されました。

オープンキャンパス

2011年9月23日(金・祝)

駒込山に秋の風が吹くころ
今年もオープン・キャンパスが開催
されました!



チャペルは、北野先生よりアズサストリートにおけるペンテコステのルーツについて力強いメッセージが語られ、参加者の皆さんは真剣なまなざしで聞き入っていました。



恒例の学校案内に続き、昼食の時間では先生方や神学生、職員の間で語りあいながら楽しい食事をする事ができました。皆さんの輝く笑顔が心に残りました。



さらに詳しく学校のことを知りたい参加者には、教室で少数グループに分かれ学生と交わりの時間を持ちました。ある方は神学生がいつものようにして献身を決心したのかという事に関心があったようです。

今回のオープン・キャンパスに参加された方が献身の思いをさらに熱く燃やし、再び駒込山を登つて来られることを願いつつ、後姿を見送りました。

(一年倉田 典子)



プログラム

- 模擬授業
- チャペル
- 交流会
- オリエンテーション



参加者 8名
教職者 7名
学生 13名



授業内容

神学校の、授業についてご紹介します。今年度より、夜時間帯の授業が開講されました。

近隣教会の信徒の皆様が聴講され、共に学ぶ機会が与えられており。とても感謝です。

学びの証し

一年 福井 美由記



久々の学生生活。勉強に対する不安はもちろんありましたが、学びの道が開かれたことを主に感謝しています。似たようなカタカナの名前が並ぶ歴史的背景、慣れないギリシャ語の文法や覚えきれないほどの単語に日々苦戦しています。気が付くと顔をしかめながら課題に取り組んでいます。これらの学びを通して、今まで平面的にしか受け取れなかった聖書の箇所がどんな立体化し、読むたびに、まるで飛び出す絵本のよう

に感動の連続を味わっています。教えてくださっている先生お一人お一人の情熱を肌

で感じ、神学の学びを通して多くのことを得る喜び、新しい発見の楽しさ、御言葉の奥深さ歴史の中に働かれた神様の偉大さを学ぶ時「私もこの感動を自分のものになりたい!」といつも魂が熱くされる毎日です。

ハレルヤ〜!



中央聖書神学校後援会

今年度も後援会々員の方々を初め、全国諸教会のお祈りと献金を心から感謝致します。後援会では、昨年からはボランティア制度を関東北東・南西教区に登録して頂き、神学校の経済的面だけではなく労働奉仕を通して援助し始めました。また、教職の先生方の不要になった書籍を送って頂き、図書館の充実と学生の必要を満たしていきたいと願っています。これからも物心ともに神学校を支え、その働きを進めてまいりますので、ご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

後援会々長 多田 睦夫

2011年1月-6月 後援会費納入者芳名 (敬称略)

【教会および関係施設】

明石キリスト教会、泉佐野福音教会、江戸川台キリスト教会、大船神召キリスト教会、沖縄中央アッセンブリー教会、小矢部キリスト教会、門真キリスト教会、金沢基督教会、蒲江キリスト教会、川尻キリスト教会、北越谷教会、金武シオン教会、小岩栄光キリスト教会、篠原教会、聖泉幼稚園、関城キリスト教会、中央福音教会、名古屋神召キリスト教会、南紀キリスト教会、新居浜福音キリスト教会、人吉キリスト教会 (女性部)、平野キリスト福音教会、山形神召教会、マリヤクリニック、武蔵野基督教会

【個人会員】

相原健二、相原克子、相原恵子、稲葉隆子、岩本章子、内川寿造、内村撒母耳、内村茂子、内村みよ、大江励、大坂清子、大森囿子、雅楽川裕、川久保郁実、柿崎昭司、柏崎みせ、河野文字、川村敏江、菊地和博、菊地恵子、北野耕一、楠章三、小泉智行、小泉智恵子、酒井源次、佐藤孝夫、佐布正義、重本操、下道定身、下永瀬和徳、杉浦泰江、杉浦由利子、関口尚子、高口喜美男、多賀谷登茂子、多田睦夫、田中みつほ、友野寛子、円谷茂治、津村昭二郎、寺田文雄、直井政勝、中川慎一郎、西川幸司、野川悦子、船津恭子、堀川英子、前川圭司、増本直樹、松崎実也、松崎ミチ子、三浦金一郎、三宅暁、宮澤幹彦、渡辺チヨ、渡部幸雄、渡部素子、和田喜久夫、和田孝子、横山臨、横山聖子、吉野清一郎、吉山宏

2011年後期授業担当教師

- **火曜日**

旧約研究 I	ハムス・ダビデ 師
ギリシャ語1b	ハムス・ダビデ 師
夢と幻の聖書神学	ハムス・ダビデ 師
聖書解釈学	船津信成 師
組織神学Ⅲ(キリスト・救済)	船津信成 師
組織神学Ⅴ(教会・終末)	小石 臨 師
- **水曜日**

旧約聖書背景	安田 眞師
個人伝道法	野川悦子 師
新約研究 I (福音書)	白石信之 師
組織神学 I (緒論・聖書)	菊地和博 師
新約研究Ⅲ(ローマ書)	菊地和博 師
- **木曜日**

ヘブル語 I b	ハムス・ダビデ 師
旧約研究Ⅱ(詩歌書)	ハムス・ダビデ 師
キリスト教倫理学	三宅規之 師
教会史Ⅱ	三宅規之 師
牧会論	久保田潔 師
ペンテコステ運動史	鈴木正和 師
- **金曜日**

英語Ⅱ	高橋恵子 師
説教Ⅱ	菊山和夫 師
異文化におけるミニストリー	ジョイス北野師
- **土曜日**

キリスト教教育通論	三上友通 師
-----------	--------

学校の動き(2011年4~9月)

- 4月21日~7月16日: 前期授業
 7月16日~8月29日: 夏季派遣
 4月1日(金): 関西分校開講式
 4月5日(火):
 入学式(本科5名、通信科4名入学) 教師会
 4月11日(月)~20日(水):
 CBC コンパッション・ウイーク
 PTSD セミナー・東日本大震災支援活動
 5月2日(月)~9日(月)、7月16日(土)~26日(火):
 東日本大震災支援活動
 5月16日(月): 女子聖学院高校チャペルで奉仕
 6月20日(月): 男子聖学院高校チャペルで奉仕
 7月11日(月)~13日(水): 教師研修会
 7月19日(火)~22日(金): 夏期研究科
 9月12日(月): 神学校対抗ソフトボール大会
 9月23日(金): オープンキャンパス
 9月26日(月)~27日(火): 学校理事会

編集後記

今年の夏も大変暑く、私たち学生も熱い情熱のもと、作成されました。夏派遣前に行った東北での熱心な奉仕や、オープン・キャンパスでの献身者候補生への熱き思いなどを紙面を通して皆さまにお伝えできた幸いです。皆さまのお祈りをいつもおぼえつつ後期も日本のリバイバルに向け、聖霊の炎で燃やされ学んでいきたいと願っております。
 広報部 倉田典子

＝お詫び＝

*2011年5月号 CBC ニュースにおける巻頭言の記事において、重複した文章が記載されてしまったことを心よりお詫びし、訂正申し上げます。
 *祈りのリクエスト 2011年度版で臨時講師(分校)に姜一成師、瀬古慎二師の御名前が抜けておりましたことを心よりお詫び申し上げます。

献金者ご芳名(2011年4月~2011年9月)

一般献金【団体】(敬称略)天塚キリスト教会
 株式会社ヨーゼフ 浜松北キリスト教会

【個人】北野耕一 松本俊子

(9月20日現在)

ダビデの石奨学金献金【関東北東】中央福音教会
 【関東南西】武蔵野基督教会【関西】尾崎基督教会【四国】中村福音キリスト教会【九州】佐伯聖書キリスト教会

【個人】野出テルコ、匿名1名

(9月15日現在)

CBCNEWS

—2011年10月号—

広報部

田原聖二 高山咲 森本亮介
 新井晴美 藤本かおり 倉田典子
 編集責任者: 野川悦子師
 事務局: 中央聖書神学校